

第5章

参考

第5章 参考

1 S D G s（持続可能な開発目標）関連表（1／2）

テーマ	No.	〔政策分野〕 目指すまちの姿	発展計画2030の施策 (ビジョン)	1 人や国を つなぐ	2 自然と 共生	3 気候変動 に備える	4 質の高い 教育を つなぐ	5 ジェンダー 平等	6 安全な 水と衛生	7 持続可能な エネルギー	8 働きがい と経済成長	9 産業と 雇用
I まちを めぐる人・人・まち	01	〔公共交通〕 「まち」「ひと」「しごと」公共交通が全てを繋ぐまち	①公共交通の整備 ②持続可能な公共交通ネットワークの構築			●				●		●
			③広域公共交通の充実			●				●		●
	02	〔都市整備〕 誰もが安全に安心して、心地よく快適に住み続けられるまち	①魅力ある都市空間づくり ②安全性と利便性を高める道路網の整備 ③持続可能な公園の形成 ④居住環境の整備			●	●					●
			⑤水道・下水道事業の安定経営					●				●
	03	〔中心市街地〕 歩くほど幸せになるまち	①まちの賑わい向上 ②魅力あるまちなみの整備 ③居心地が良く歩きたくなるまちなみづくり			●	●				●	●
						●	●				●	●
II ひとを 育む	04	〔防災〕 防災はみんなの力、安全はみんなの笑顔、安全・安心の絆でつながるまち	①災害に強いまちづくり ②多様なニーズに対応した避難所・避難場所の整備 ③自主防災組織の組織率向上及び活動充実に向けた支援					●	●			●
			④地域コミュニティの推進 ⑤市民活動への支援							●	●	●
	05	〔コミュニティ〕 市民や地域のコミュニティが活発なまち	①地域コミュニティの推進 ②市民活動への支援		●	●	●			●	●	●
			③脱炭素社会の推進 ④循環型社会の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	06	〔環境〕 一人ひとりが限りある資源を大切にする循環型の自然豊かな美しいまち	①自然との共生 ②うるおいのあるまちづくりの推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●
								●	●		●	●
	07	〔教育〕 豊かな学びや体験を得て、質の高い教育を受けることのできるまち	①安全・安心な教育環境の整備 ②魅力ある学校づくりの推進 ③学校・家庭・地域のネットワーク構築 ④多様な学びのニーズへの対応			●	●	●				●
				●	●	●	●	●				●
	08	〔こども〕 こどもの笑顔が未来をつくる、子育てが楽しいまち	①結婚・妊娠・出産・育児までの切れ目のない支援 ②安心して子育てできる環境づくり ③地域社会全体でこどもと子育て世帯を支援する環境づくり	●	●	●	●	●				●
				●	●	●	●	●				●
	09	〔健康〕 誰もが健康で生きがいと役割を持って、地域の中でいきいきと暮らすまち	①SUJIK生活の推進による健康寿命の延伸 ②エビデンスに基づく生活習慣病の予防促進 ③女性の健康支援 ④心の健康の保持・増進	●	●	●	●	●				●
			⑤生活衛生の確保 ⑥医療体制の充実	●	●	●	●	●				●
	10	〔医療〕 安心して医療が受けられる暮らしやすいまち	①感染症の予防対策の充実 ②救急体制の充実・強化 ③市立病院済生館の新病院整備	●	●	●	●	●	●			●
			④地域福祉の充実 ⑤介護福祉人材確保・定着に向けた総合的取組	●	●	●	●	●				●
	11	〔福祉〕 困っている人、悩んでいる人を誰もがほっとかないまちHOTOなまち	①障がい福祉の充実 ②高齢者福祉の充実 ③住環境の充実	●	●	●	●	●				●
			④創造的活動の機会の充実・担い手の育成と支援 ⑤文化財の効果的な保存・活用 ⑥文化施設の整備	●	●	●	●	●				●
	12	〔文化〕 身近にあるクリエイティブに出会えるまち	①身近でスポーツに親しむことができる環境整備 ②地域交流の拡大と活性化 ③多様なスポーツを通じた健康増進への対応			●	●	●				●
						●	●	●				●
III しごとを 豊かにする	14	〔商工〕 産業の振興と働きやすさがつなぐ、未来をひらくまち	①産業の集積 ②地域企業の稼ぐ力の向上 ③若者の活躍と人材の確保・育成				●					●
			④多様なニーズに対応した観光振興 ⑤観光地の魅力と利便性向上に向けた基盤整備 ⑥高付加価値旅行者の誘客推進						●			●
	15	〔観光〕 暮らしと観光がつながり、何度も訪れたくなる感動体験を生み出すまち	①マーケットに対応した戦略的な農林業の振興 ②多様な担い手の育成・確保 ③農林業生産基盤の整備		●				●			●
			④男女共同参画の推進 ⑤女性活躍の推進 ⑥誰もが安心して暮らせるまちづくり	●	●	●	●	●				●
	16	〔農林〕 豊かな自然とおいしい食を未来につなぐ、みどりの循環するまち	①山形ブランドの発信と創造 ②移住・定住・関係人口の拡大 ③国際化への対応		●	●	●	●				●
						●	●	●				●
未来へつなぐ 行政経営	17	〔男女共同参画〕 性別に関わらず多様な人材が活躍し、多様な価値観が尊重されるまち	①山形ブランドの発信と創造 ②移住・定住・関係人口の拡大 ③国際化への対応		●	●	●	●				●
	18	〔シティプロモーション〕 山形ブランドが確立し、高いブランド力で選ばれ続けるまち	①人材の育成・確保 ②行政サービスの向上 ③効果的・効率的な行政経営 ④持続的発展が可能な財政運営			●	●	●				●

テーマ	No.	〔政策分野〕 目指すまちの姿	発展計画2030の施策 (ビジョン)	10 人や国を 豊かにする	11 住み続け たいまち	12 持続可能 な消費	13 気候変動 対策	14 海の豊か さを保つ	15 陸の豊か さを保つ	16 平和と公 正な社会	17 グローバル パートナー シップ
I ま ま の ま ち を つ く り たい	01	〔公共交通〕 「まち」「ひと」「しごと」公共交通が全てを繋ぐまち	①公共交通の整備 ②持続可能な公共交通ネットワークの構築		●		●				●
			③広域公共交通の充実		●		●				●
	02	〔都市整備〕 誰もが安全に安心して、心地よく快適に住み続けられるまち	①魅力ある都市空間づくり ②安全性と利便性を高める道路網の整備 ③持続可能な公園の形成 ④居住環境の整備		●					●	
			⑤水道・下水道事業の安定経営		●		●				●
	03	〔中心市街地〕 歩くほど幸せになるまち	①まちの賑わい向上 ②魅力あるまちなみの整備 ③居心地が良く歩きたくなるまちなかづくり		●					●	●
					●						●
II こ と を つ く り たい	04	〔防災〕 防災はみんなの力、安全はみんなの笑顔、安全・安心の絆でつながるまち	①災害に強いまちづくり ②多様なニーズに対応した避難所・避難場所の整備 ③自主防災組織の組織率向上及び活動充実に向けた支援		●		●				●
			④地域コミュニティの推進		●					●	●
	05	〔コミュニティ〕 市民や地域のコミュニティが活発なまち	①市民活動への支援		●		●			●	●
			②脱炭素社会の推進		●	●	●	●	●		●
	06	〔環境〕 人のとりが限りある資源を大切にす循環型の自然豊かな美しいまち	③循環型社会の推進 ④自然との共生 ⑤うるおいのあるまちづくりの推進		●	●	●	●	●		●
					●	●	●	●			
	07	〔教育〕 豊かな学びや体験を得て、質の高い教育を受けることのできるまち	①安全・安心な教育環境の整備 ②魅力ある学校づくりの推進 ③学校・家庭・地域のネットワーク構築 ④多様な学びのニーズへの対応	●	●		●			●	●
				●	●					●	●
	08	〔こども〕 こどもの笑顔が未来をつくる、子育てが楽しいまち	①結婚・妊娠・出産・育児までの切れ目のない支援 ②安心して子育てできる環境づくり ③地域社会全体でこどもと子育て世帯を支援する環境づくり	●	●						●
				●	●						●
	09	〔健康〕 誰もが健康で生きがいと役割を持って、地域の中でいきいきと暮らすまち	①SUKSK生活の推進による健康寿命の延伸 ②エビデンスに基づく生活習慣病の予防促進 ③女性の健康支援 ④心の健康の保持・増進 ⑤生活衛生の確保	●	●	●					●
III し こ と を つ く り たい	10	〔医療〕 安心して医療が受けられる暮らしやすいまち	①医療体制の充実 ②感染症の予防対策の充実 ③救急体制の充実・強化 ④市立病院済生館の新病院整備	●	●		●				●
				●	●						●
	11	〔福祉〕 困っている人、悩んでいる人を誰もほっとかないボツとするまちHOUTなまち	①地域福祉の充実 ②介護福祉人材確保・定着に向けた総合的取組 ③障がい福祉の充実 ④高齢者福祉の充実 ⑤住環境の充実	●	●		●			●	●
				●	●		●			●	●
	12	〔文化〕 身近にあるクリエイティブに出会えるまち	①創造的活動の機会の充実・担い手の育成と支援 ②文化財の効果的な保存・活用 ③文化施設の整備	●	●						●
				●	●						●
	13	〔スポーツ〕 スポーツ熱の高い健康で活気あふれるまち	①身近でスポーツに親しむことができる環境整備 ②地域交流の拡大と活性化 ③多様なスポーツを通じた健康増進への対応		●					●	●
					●						●
	14	〔商工〕 産業の振興と働きやすさがつなく、未来をひらくまち	①産業の集積 ②地域企業の稼ぐ力の向上 ③若者の活躍と人材の確保・育成	●	●	●					●
				●	●	●					●
	15	〔観光〕 暮らしと観光がつながり、何度も訪れたい感動体験を生み出すまち	①多様なニーズに対応した観光振興 ②観光地の魅力と利便性向上に向けた基盤整備 ③高付加価値旅行者の誘客推進		●						●
未来への まちづくり 行政	16	〔農林〕 豊かな自然とおいしい食を未来につなぐ、みどりの循環するまち	①マーケットに対応した戦略的な農林業の振興 ②多様な担い手の育成・確保 ③農林業生産基盤の整備		●	●	●	●	●		●
				●	●	●	●	●	●		●
	17	〔男女共同参画〕 性別に関わらず多様な人材が活躍し、多様な価値観が尊重されるまち	①男女共同参画の推進 ②女性活躍の推進 ③誰もが安心して暮らせるまちづくり	●	●					●	●
				●	●					●	●
	18	〔シティプロモーション〕 山形ブランドが確立し、高いブランド力で選ばれ続けるまち	①山形ブランドの発信と創造 ②移住・定住・関係人口の拡大 ③国際化への対応		●	●			●	●	●
				●	●				●	●	●
未来への まちづくり 行政	19	〔行政〕 発展計画を推進するための基盤づくり	①人材の育成・確保 ②行政サービスの向上 ③効果的・効率的な行政経営 ④持続的発展が可能な財政運営	●	●		●			●	●
				●	●		●			●	●

政策に関連する個別計画（1／3）

本計画で定めた各種政策は、政策に関連する個別の計画に基づき実施します。また、本計画では言及していない経常的な施策や事業については、部門別の政策課題に対応した個別計画に基づき実施します。

テーマ	No.【政策分野】	目指すまちの姿	NO.	個別計画名
I まちをつくる	01	【公共交通】 「まち」・「ひと」・「しごと」公共交通が全てを繋ぐまち	1	山形市地域公共交通計画
			2	山形市総合交通戦略
			3	山形市地域公共交通利便増進実施計画
			4	山形市交通結節点整備方針
			5	山形市交通結節点整備基本構想
			6	山形市MaaS導入方針
			7	仙山圏交通網の充実に向けた仙山線の利用促進及び利便性向上プロジェクト
			8	山形市バリアフリー基本構想
			9	北山形駅周辺地区バリアフリー基本構想
			10	山形市道の駅整備構想
			11	山形市都市計画マスタープラン
			12	山形市立地適正化計画
			13	山形市健康プラン2035
	02	【都市整備】 誰もが安全に安心して、心地よく快適に住み続けられるまち	14	山形市ウォーキング推進計画
			15	山形市自転車活用推進計画
			16	山形市都市計画マスタープラン【再掲】
			17	山形市都市計画道路見直し計画
			18	山形市景観計画
			19	山形市みどりの基本計画
			20	山形市公園施設長寿命化計画
			21	山形市住生活基本計画
			22	山形市空家等対策計画
			23	山形市営住宅等長寿命化計画
			24	山形市マンション管理適正化推進計画
			25	山形市橋梁長寿命化修繕計画
			26	山形市無電柱化推進計画
			27	山形市舗装長寿命化個別設計計画
			28	（仮称）山形市消雪道路整備基本計画
			29	道路除排雪計画
			30	山形市側溝冠水対策計画
			31	山形市上下水道事業基本計画NEXTビジョン2023
			32	山形市健康プラン2035【再掲】
	03	【中心市街地】 歩くほど幸せになるまち	33	山形市ウォーキング推進計画【再掲】
			34	山形市自転車活用推進計画【再掲】
			35	山形市健康プラン2035【再掲】
			36	山形市中心市街地ランドデザイン
			37	山形市中心市街地活性化基本計画
			38	山形市都市計画マスタープラン【再掲】
			39	山形市立地適正化計画【再掲】
			40	山形市景観計画【再掲】
			41	山形市みどりの基本計画【再掲】
			42	山形市住生活基本計画【再掲】
			43	山形市空家等対策計画【再掲】
			44	（仮称）山形市消雪道路整備基本計画【再掲】
			45	道路除排雪計画【再掲】

テーマ	No.〔政策分野〕	目指すまちの姿	NO.	個別計画名
Ⅰ おへんしゅけけまち	04	〔防災〕 防災はみんなの力、安全はみんなの笑顔、安全・安心の絆でつながるまち	47	山形市国土強靱化地域計画
			48	山形市地域防災計画
			49	（仮称）防災情報DX化整備計画
			50	（仮称）避難所・避難場所環境整備計画
			51	山形市立地適正化計画【再掲】
			52	山形市建築物耐震改修促進計画
			53	山形市みどりの基本計画【再掲】
			54	山形市水防計画
			55	山形市下水道（雨水）整備基本計画
			56	山形市無電柱化推進計画【再掲】
			57	（仮称）山形市消雪道路整備基本計画【再掲】
			58	道路除排雪計画【再掲】
			59	山形市健康プラン2035【再掲】
	05	〔コミュニティ〕 市民や地域のコミュニティが活発なまち	60	市民活動との共創指針
			61	山形市健康プラン2035【再掲】
	06	〔環境〕 一人ひとりが限りある資源を大切にす循環型の自然豊かな美しいまち	62	（第4次）山形市環境基本計画
			63	山形市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）
			64	山形市役所地球温暖化対策実行計画（事務事業編）
			65	山形市一般廃棄物処理基本計画
			66	山形市景観計画【再掲】
			67	山形市みどりの基本計画【再掲】
			68	山形市健康プラン2035【再掲】
Ⅱ むすめとこども	07	〔教育〕 豊かな学びや体験を得て、質の高い教育を受けることのできるまち	69	山形市健康プラン2035【再掲】
			70	いのちを支える山形市自殺対策計画
			71	（仮称）山形市部活動地域移行・地域連携推進計画（R8.4.1～予定）
			72	山形市教育振興基本計画
			73	山形市教育の情報化推進計画
			74	第2次山形市特別支援教育推進計画
	08	〔こども〕 こどもの笑顔が未来をつくる、子育てが楽しいまち	75	山形市健康プラン2035【再掲】
			76	いのちを支える山形市自殺対策計画【再掲】
			77	山形市こども計画
			78	山形市住生活基本計画【再掲】
			79	山形市空家等対策計画【再掲】
	09	〔健康〕 誰もが健康で生きがいと役割を持って、地域の中でいきいきと暮らすまち	80	山形市営住宅等長寿命化計画【再掲】
			81	山形市ウォーキング推進計画【再掲】
			82	山形市健康プラン2035【再掲】
	10	〔医療〕 安心して医療が受けられる暮らしやすいまち	83	いのちを支える山形市自殺対策計画【再掲】
			84	山形市新型インフルエンザ等対策行動計画
			85	山形市健康プラン2035【再掲】
	11	〔福祉〕 困っている人、悩んでいる人を誰もほっとかないホットとするまち HOTなまち	86	山形市感染症予防計画
			87	山形市地域福祉計画
			88	山形市高齢者保健福祉計画（介護保険事業計画）
			89	山形市第5次障がい者基本計画
			90	山形市障がい福祉計画（第7期計画）・山形市障がい児福祉計画（第3期計画）
			91	山形市住生活基本計画【再掲】
			92	山形市空家等対策計画【再掲】
			93	山形市営住宅等長寿命化計画【再掲】
			94	山形市健康プラン2035【再掲】

テーマ	No.【政策分野】	目指すまちの姿	NO.	個別計画名
Ⅱ ひとを育む	12	【文化】 身近にあるクリエイティブに出会えるまち	96	山形市文化創造都市推進基本計画
			97	山形市文化財保存活用地域計画
			98	山形市景観計画【再掲】
			99	山形市健康プラン2035【再掲】
	13	【スポーツ】 スポーツ熱の高い健康で活気あふれるまち	100	山形市ウォーキング推進計画【再掲】
			101	山形市自転車活用推進計画【再掲】
			102	山形市スポーツ推進計画2028
			103	山形市みどりの基本計画【再掲】
Ⅲ まちを豊かにする	14	【商工】 産業の振興と働きやすさがつなぐ、未来をひらくまち	105	山形市工業振興計画
			106	山形市都市計画マスタープラン【再掲】
	15	【観光】 暮らしと観光がつながり、何度も訪れたくなる感動体験を生み出すまち	107	山形市観光基本計画
			108	山形市景観計画【再掲】
	16	【農林】 豊かな自然とおいしい食を未来につなぐ、みどりの循環するまち	109	山形市道の駅整備構想【再掲】
			110	山形市農業振興基本計画
			111	山形市農業振興地域整備計画
			112	山形市みどりの基本計画【再掲】
			113	山形市食育・地産地消推進計画
			114	山形市6次産業化推進計画
			115	山形市農作物鳥獣被害防止計画
			116	山形市森林整備計画
			117	山形市の建築物等における木材の利用促進に関する基本方針
			118	山形市林道施設長寿命化計画
	17	【男女共同参画】 性別に関わらず多様な人材が活躍し、多様な価値観が尊重されるまち	119	山形市特定間伐等促進計画
			120	山形市健康プラン2035【再掲】
			121	第4次山形市男女共同参画計画
			122	第2次山形市職業生活における女性活躍推進計画
	18	【シティプロモーション】 山形ブランドが確立し、高いブランド力で選ばれ続けるまち	123	第2次山形市DV防止基本計画
			124	山形市健康プラン2035【再掲】
未来へつなげる行政経営	19	【行政】 発展計画を推進するための基盤づくり	125	山形連携中枢都市圏ビジョン
			126	山形市職員定員適正化計画
			127	（仮称）山形市外郭団体経営健全化方針
			128	山形市職員人材育成基本方針
			129	山形市スマートシティ推進基本計画
			130	山形市公共施設等総合管理計画
			131	（仮称）山形市建設DX推進計画

あ 行	ICT(アイシーティー)	Information Communication Technologyの略で、情報や通信に関連する技術の一般の総称。
	アウトバウンド	国外に出る旅行、海外旅行を指す言葉。
	アドベンチャーツーリズム	「自然」、「アクティビティ」、「文化体験」の3要素のうち2つ以上で構成される旅行を指す言葉。
	RPA(アールピーイー)	一般人が行う定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットが代替して自動化するもの。
	粹七エリア整備	中心市街地の回遊性向上や賑わい拠点の創出を図るため、「粹なまち七日町」のコンセプトのもと、七日町二丁目周辺で進めている街区整備のこと。
	一般財源	市税や交付税など使途が特定されず、市が独自に使える財源のこと。
	イノベーション	画期的な技術や新しい仕組みを創造し、変革を起こすことで経済や社会に価値を生み出すこと。
	インクルーシブ	性別や年齢、人種・国籍の違い、障がいの有無など、異なる背景や特性をもつ人々が互いを認め合い、ともに生きること。
	インバウンド	国外から入ってくる旅行、一般的に訪日外国人旅行を指す言葉。
	EBPM(イービーピーエム)	Evidence-Based Policy Makingの略で、統計や業務データなどの客観的な証拠に基づく政策立案のこと。
	Web3.0(ウェブスリー)	ブロックチェーン技術を基盤する分散型ネットワーク環境のこと。特定の企業や管理者に依存せず個人に関連するデータを自分自身で管理することができる次世代のインターネットの概念。
	ウェルビーイング	(Well-being)身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念のこと。
	ウォーカブル	walk(歩く)とable(できる)を組み合わせた造語。ここでは「居心地が良く歩きたくなる」意味を指す言葉。
	LRT(エルアールティー)	Light Rail Transit の略で、低床式車両の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する軌道系交通システムのこと。近年、道路交通を補完し、人と環境にやさしい公共交通として再評価されている。
	AI(エーアイ)	Artificial Intelligenceの略で、人間の知的営みをコンピュータに行わせるための技術のこと、又は人間脳が行っている知的な作業をコンピュータで模倣したソフトウェアやシステムのこと。
	AI(エーアイ)オンデマンド交通	AIを活用した効率的な配車により、利用者予約に対し、リアルタイムに最適配車を行うシステムのこと。
か 行	NFT(エヌエフティー)	Non-Fungible Token(非代替性トークン)の略で、変わるものがない「唯一無二」の価値があるデジタルデータ、およびそれを実現する技術を指す。
	おやこよりそいチャットやまがた	山形市では、社会福祉士、精神保健福祉士等の有資格者で、相談支援の実務経験がある相談員(デジタルソーシャルワーカー)を配置したチームがコミュニケーションアプリLINE上で相談を受けている。
	カーボンニュートラル	大気中に排出される二酸化炭素などの温室効果ガスの量から、森林等が吸収する二酸化炭素などの温室効果ガスの量を差し引いて、全体で実質ゼロにすること。
	ガストロノミー	日本語では「美食学」とも訳され、各国や地域で提供される「食」を農業・自然・気候・歴史・文化・芸術などさまざまな観点から幅広く捉え、総合的に学び、楽しんでいこうとする概念のこと。

か 行	救急医療情報共有システム	救急隊と病院にタブレット端末を配備して、救急現場で集約した傷病者の情報やお薬手帳、バイタルサインなどのデータを病院とリアルタイムに共有するシステムのこと。
	教育DX(ディーエックス)	データやデジタル技術を活用して、従来とは異なる教育スタイルを確立し、学校教育をより良く変革すること。
	協働的な学び	他者と共に考えたり、意見を交換したりしながら学ぶこと。互いに教え合ったり、協力して課題を解決したりすることで、より深く理解することができる。
	拠点ネットワーク型集積都市	山形市都市計画マスタープランに位置付けられている「ゾーン」「都市核」「機能拠点」「生活圏」「ネットワーク」の5つの都市構造の考え方と構成要素を組み合わせた山形市の将来都市構造のこと。
	繰出金	特別会計や企業会計に、国で定める繰出基準などに基づき支出する経費のこと。
	グランドツーリズム	単なる観光ではなく、外国の政治経済を学び、教養を身に付け、人脉を築く自己研鑽の旅行を指す言葉。
	クリエイティブ	(creative)日本語で「創造的な・創造力のある・独創的な」という様子を表す言葉。新しいものを自分の考えや技術などを用いて初めて作り出すさま。また、類似のものが無い、新しい着想が表れているさま。
	GX(グリーントランスフォーメーション)	脱炭素社会に向けて再生可能なクリーンエネルギーに転換していく取組のこと。
	広域連携	村山地域全域の7市7町の枠組みで実施している山形連携中枢都市圏や山形市と仙台市による仙山連携など、自治体間で連携して取り組むこと。
	公債費	学校や道路などの施設整備のため山形市が借り入れた市債(長期の借入金)の元利償還金などのこと。
	公民連携	行政と民間事業者等が協働して地域課題の解決や公共サービスの充実を図る手法のこと。
	個別最適な学び	自己の可能性を最大限に引き出すため、児童生徒一人ひとりの学習進度や個性に合わせて学びを深めること。
	個別避難計画	山形市避難行動支援制度において、災害時の避難行動(避難先や避難支援者など)について簡潔に記載するもの。
さ 行	コワーキングスペース	さまざまな年齢、職種、所属の人たちが空間を共有しながら仕事を行うスペースのこと。「Co(=共同の、一緒に)」「Working(=働く、仕事を)」「Space(=場所)」を語源に、それぞれを掛け合わせて作られた言葉で、「共同で働く場所」という意味がある。
	サステナブル	現代の世代の活動が、将来の世代の活動を損なうことなく持続できるかどうかを表す概念のこと。
	サテライトオフィス	企業または団体の本拠から離れた所に設置されたオフィスのこと。
	シンクタンク	山形市では、市民の健康の保持・増進に向けた取組を効果的に推進するため、保健所の保健師、薬剤師などの専門職を活用したシンクタンクを設置している。医師である保健所長の指揮のもと、健診データやアンケート等により収集した市民の健康に関するデータの科学的な分析や健康課題の抽出・検討等を行っている。
	ジェンダーギャップ	男女の違いにより生じる様々な格差のこと。
	GDP(ジーディーピー)	「Gross Domestic Product」の略で、「国内総生産」のことを指し、一定期間内に国内で産出された付加価値の総額で、国の経済活動状況を示すもの。名目GDPは、対象の期間の付加価値を単純に合計して求めるのに対し、実質GDPは、貨幣価値の変動を考慮に入れて計算するため、より正確な経済成長状況を把握するためには実質GDPを用いる。

さ 行	自主防災組織	町内会単位(山形市では町内会単位を推奨)で組織され、平常時及び災害時において自主的に防災活動に取り組む組織のこと。
	ジビエ	食材となる野生鳥獣肉のことをフランス語でジビエ(gibier)といい、シカやイノシシによる農作物被害が大きな問題となっており、捕獲が進められるとともに、ジビエとしての利用も全国的に広がっている。
	森林クレジット(J-クレジット)	省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO2等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO2等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度のこと。国内クレジット制度とオフセット・クレジット(J-VER)制度が発展的に統合した制度で、国により運営されている。中小企業・自治体等の省エネ・低炭素投資等を促進し、クレジットの活用による国内での資金循環を促すことで環境と経済の両立を目指すもの。
	住宅確保要配慮者	住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律において、低額所得者、被災者、高齢者、障害者、子育て世帯等と定められている。
	SUKSK(スクスク)	山形市では、市民の健康寿命の延伸を目指すため、「食事(S)、運動(U)、休養(K)、社会参加(S)、禁煙・受動喫煙防止(K)」に留意する「SUKSK生活」を提唱し、市民の健康に対する意識を高めるためさまざまな取組を行っている。
	スタートアップ	社会的課題を成長のエンジンへと転換して持続可能な経済社会を実現する、新しい資本主義の考え方を体現するもの。
	スプロール化	都市から郊外への計画的なつながりなどを意識しないまま、無秩序に市街地開発が進む現象のこと。
	スマートシティ	先進的技術の活用により、都市や地域の機能やサービスを効率化・高度化し、各種の課題の解決を図るとともに、快適性や利便性を含めた新たな価値を創出する取組のこと。
	スマート農業	ロボット技術や情報通信技術を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業のこと。
	3R(スリーアール)	環境と経済が両立した循環型社会を形成していくための3つの取組Reduce(リデュース・発生抑制)、Reuse(リユース・再使用)、Recycle(リサイクル・再生利用)の頭文字をとったもの。リデュース、リユース、リサイクルの優先順位で取り組むことが求められている。
	生成AI(エーアイ)	「Generative AI:ジェネレーティブエーアイ」とも呼ばれ、さまざまなコンテンツを生成できるAIのこと。従来のAIが決められた行為の自動化が目的であるのに対し、生成AIはデータのパターンや関係を学習し、新しいコンテンツを生成することを目的としている。
	ZEB(ゼブ)	Net Zero Energy Buildingの略で、建築物における一次エネルギー消費量を、省エネルギー性能向上や再生可能エネルギーの活用などにより削減し、年間消費量が正味でゼロ又はおおむねゼロとなる建築物のこと。
	ZEH(ゼッチ)	Net Zero Energy Houseの略で、住宅における一次エネルギー消費量を、省エネルギー性能向上や再生可能エネルギーの活用などにより削減し、年間消費量が正味でゼロ又はおおむねゼロとなる住宅のこと。
	Society(ソサエティー)5.0	我が国が目指すべき未来社会の姿として国が提唱するもの。これまでの狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。人工知能(AI)の活用や、ロボットや自動走行車などの技術で、少子高齢化、地方の過疎化などの課題の克服を目指す。
た 行	DAO(ダオ)	従来のトップダウンによる組織形態ではなく、参加者の意思(投票)でプロジェクトの方向性を決定する組織形態のこと。参加者の意思(投票)により組織の意思決定がなされるため、参加者との結びつきの強い組織を作ることができると期待されている。
	多機能連携	産業・医療・教育・福祉・観光分野など多様な主体の各々の役割や能力などを自治体が活用し、目的達成を図る取組のこと。
	ダブルケア	子育てと親や親族の介護が同時期に発生する状態のこと。

た 行	地域包括ケアシステム	高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい自立した生活を継続していくことができるように、介護保険制度のみならず、医療、介護予防、地域の様々な活動等、多様な社会資源を効果的に活用して、高齢者を包括的及び継続的に支援する仕組みのこと。
	地域共生社会	制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに創っていく社会のこと。
	地方交付税	地方公共団体が一定水準の行政を行うために必要な財源を保障することなどを目的として、国が地方公共団体に交付するもの。
	ツーリズム	単なる観光旅行のみならず、観光事業や旅行に関連する事柄の全体を指す言葉。
	DMO(ディーエムオー)	DMO(Destination Management/Marketing Organization)。官民が連携して観光地域づくりを行う法人。
	DMAT(ディーマツト)	Disaster Medical Assistance Teamの略で、医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームのこと。
	DE&I(ディーアンドアイ)	Diversity(ダイバーシティ/多様性)・Equity(エクイティ/公平性)& Inclusion(インクルージョン/包摂性)の3つの頭文字を合わせた言葉。
	デザインの視点	一般的に言われる「意匠する」の意味ではなく、「新たな仕組み、枠組み、手法などを構築する」という意味。社会が大きく変化していく中、その変化に的確に対応していくことが求められることから施策を推進するための視点の1つとして設定。
	デジタルサイネージ	公共空間や交通機関等の様々な場所でディスプレイ電子的表示器を使って情報発信を行うシステムであり、広告・宣伝に利用されるほか、災害時の情報伝達手段としての役割も期待されている。
	DX(デジタルトランスフォーメーション)	デジタル技術による社会経済の変革を意味する。自治体においては、デジタル技術「も」活用して住民本位の行政・地域・社会等を再デザインするプロセスのこと。
	特別会計	特定の歳入をもって特定の歳出(事業)に充てる事業について、その収支を明確にするために一般会計と区別して設けられるもの。社会保障関連では、国民健康保険事業会計や介護保険事業会計などがある。
	特別支援教育	障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うこと。
は 行	DV(ドメスティックバイオレンス)	配偶者・恋人など親密な関係にある者、又は親密な関係にあった者から受ける身体的、精神的暴力などの様々な暴力のこと。
	HACCP(ハサップ)	Hazard Analysis and Critical Control Pointの略。食品など事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入などの危害要因(ハザード)を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程のなかで、それらの危害要因を除去または低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法のこと。
	8050(ハチマルゴーマル)世帯	「80」代の親が「50」代のこどもの生活を支えている世帯のこと。
	Park-PFI(パークピーエフアイ)	平成29年(2017年)の都市公園法改正により設けられた、飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の遠路、広場等の一般の公園の利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する「公募設置管理制度」のこと。
	半農半X	農業と他の仕事を組み合わせた働き方のこと。

は 行	ビッグデータ	インターネット上で収集・分析できる膨大なデータのこと。
	BCP(ビーシーピー)	Business Continuity Planの略で、業務継続計画などと訳される。新型コロナウイルス等感染症や大地震などの災害が発生すると、通常通りに業務を実施することが困難になることから、まず、業務を中断させないように準備するとともに、中断した場合でも優先業務を実施するため、あらかじめ検討した方針、体制、手順等を示した計画のこと。
	PFI(ピーエフアイ)	PFI(Private Finance Initiative: プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法のこと。
	PDCA(ピーディーシーイー)	Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)の頭文字をとったもので、業務の効率化を目指す方法の1つ。
	扶助費	高齢者や乳幼児、児童、障がい者、生活保護に対する支援など社会保障制度の一環として支出される経費のこと。
	プレコンセプションケア	「妊娠前からの健康づくり」を意味する。若いうちから妊娠・出産を含めた将来のライフプランを考えて、自分の生活に向き合い、健康管理を行うこと。
	HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)	過去1～2か月の平均血糖値を反映する指標のこと。
	ベにうっど	森林への興味関心を高め、木材の利用促進につなげることを目的とし、公募により選定した山形市産材の愛称のこと。
ま 行	MaaS(マース)	Mobility as a Serviceの略で、地域住民や旅行者一人ひとりのトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数公共交通やそれ以外移動サービスを最適に組み合わせ検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるもの。
	マスツーリズム	第2次世界大戦後の経済発展を背景に、それまで富裕層に限られていた観光旅行が、幅広く大衆にまで拡大した現象を指す。
	まちづくりGX(グリーントランスフォーメーション)	気候変動対策や生物多様性の確保、Well-beingの向上に対して大きな役割を有している都市緑地の多様な機能の発揮、及び都市におけるエネルギーの面的利用の推進を図るための取組のこと。
	まち・ひと・しごと創生法	同法が、平成26年(2014年)11月に施行され、少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、まち・ひと・しごと創生(地方創生)に関する施策を総合的かつ計画的に実施することとなった。この法律では、市町村は、地域の実情に応じた基本的な計画である市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略(地方版総合戦略)を定めることが努力義務とされている。
	モビリティマネジメント	一人ひとりのモビリティ(移動)が、社会的にも個人的にも望ましい方向(過度な自動車利用から公共交通等を適切に利用する等)に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策のこと。
や 行	山形市売上増進支援センター Y-biz(ワイビズ)	あらゆる業種のお店・中小企業等の「売上を伸ばしたい」「新しいチャレンジをしたい」という前向きな気持ちを全国公募で選ばれたアドバイザーが、具体的な課題解決の提案と実行をワンストップで支援する山形市のビジネスコンサルティングセンターのこと。
	山形市コミュニティファンド(市民活動支援金)	平成20年(2008年)4月、まちづくりを担う市民活動を財政面から支える仕組みとして設置。市民・事業者・行政が適切な役割を担い、協力・補完し合いながら、地域課題の解決に繋げる地域貢献型のファンドのこと。
	山形市国土強靱化地域計画	東日本大震災の教訓を踏まえ、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策を総合的、計画的に実施するため、平成25年(2013年)12月に国が「国土強靱化基本法」を制定したことを受け、山形市においても、今後想定される大規模自然災害等から市民の生命と財産を守り、持続的な成長を実現するため、「致命的な被害を負わない強さ」と「速やかに回復するしなやかさ」を備えた「強靱な国土づくり」に向け、策定した計画。

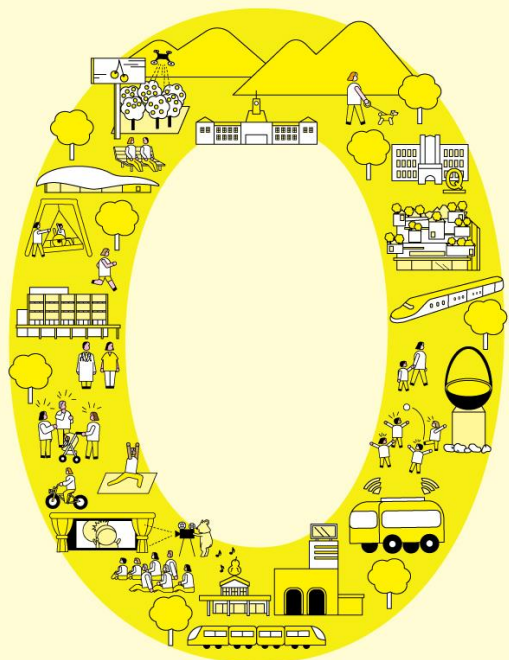
や 行	ヤングケアラー	家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められることも・若者（おおむね30歳未満を中心としているが、状況等に応じ40歳未満の者も対象となり得る）のこと。
	山形市中心市街地グランドデザイン	中心市街地活性化の将来像を示し、それを実現する手段を明らかにすることで、民間・行政に関わりなく、中心市街地に新たな投資や人の流入を促し、時代のニーズに合った新しい山形市中心市街地を創造することを目指すため、平成31年（2019年）2月に策定（令和4年（2022年）11月改訂）したもの。
	ユネスコ創造都市ネットワーク	ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が、文化の多様性を保持するとともに、都市が持つ創造の力・文化による発展可能性を都市間連携により最大限発揮させる枠組みとして平成16年（2004年）に開始し、山形市は平成29年（2017年）に映画分野において日本で唯一加盟認定を受けている。これは「山形国際ドキュメンタリー映画祭」を30年以上に渡り開催してきたことなど映画分野における実績に加え、地域に根付く多彩な文化を産業等に活かしていくポテンシャルを高く評価されたもの。
ら 行	ライフステージ	年齢にともなって変化する生活段階のこと。人間の一生において節目となる出来事（進学、就職、結婚・出産、退職など）によって区切ったそれぞれの段階のこと。
	リスキリング	技術革新やビジネスモデルの変化に対応するため、業務上で必要とされる新しい知識やスキルを学ぶこと。
	立地適正化計画	人口減少、少子高齢化が進展する中、都市計画法を中心とした従来の土地利用規制に加え、医療・福祉・商業などの都市機能と住宅などの居住機能を一定の条件を満たす区域（誘導区域）内へ緩やかに誘導するとともに、これらの区域と周辺の生活圏を利便性の高い公共交通ネットワークにより連携することにより、持続可能な都市構造を実現することを目的に、市町村が作成する計画のこと。
	レジリエンス	状況の変化に対し、適応・転換しながら回復する能力のこと。
	ロケツーリズム	映画・ドラマのロケ地を訪ね、風景と食を堪能し、人々の“おもてなし”に触れ、その地域のファンになることであり、そのインパクトも大きいことから、ロケ地となった地域での持続的な観光振興の取組につながる観光資源として有望。
わ 行	ワーケーション	「Work（仕事）」と「Vacation（休暇）」を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し、普段の職場や自宅とは異なる場所で仕事をしつつ、自分の時間も過ごすこと。余暇主体と仕事主体の2つのパターンがある。
	ワーク・ライフ・バランス	「仕事と生活の調和」と訳され、国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。
	ワンスオンリー	一度提出した情報は、二度提出することを不要とすること。

山形市の概況

市章	中の3線は「自由」「平等」「友愛」、外円は「団結」、下の鋭角は「固い意志」を意味し、これらを山の字で表現している。
沿革	明治22年 市制施行 昭和 6年 東沢村(一部)編入 昭和18年 鈴川、千歳村編入 昭和29年 飯塚、榎沢、滝山、東沢、南沼原、高瀬、楯山、出羽、明治、大郷、金井(東)、金井(南)村編入 昭和31年 大曾根、山寺(大字山寺)、蔵王、村木沢、柏倉門伝、本沢村編入 平成元年 市制施行100周年 平成13年 特例市 令和元年 中核市
地勢	県の東南部、蔵王に源を発する馬見ヶ崎川の扇状地に位置し、東西21.5km、南北27.5kmで、ほぼ正方形に近い形をしている。東には蔵王連峰が連なり、市街地西には田園地帯が広がっている。盆地性気候のため寒暖の差が大きい。雪は比較的少ない。
総面積	381.30km ² (林野面積割合:56.1%)(可住地面積割合:43.9%)
昼夜間人口比率 (令和2年国勢調査)	106.4%
人口密度 (令和2年国勢調査)	649.3人/km ²
市の木、花	ナナカマド、ペニバナ
都市宣言等	・山形市平和都市宣言(昭和59年3月22日市議会議決) ・暴力のない明るい都市宣言(昭和62年3月19日市議会議決) ・スポーツ都市宣言(昭和63年12月21日市議会議決) ・ゆとり宣言(平成2年6月22日市議会議決) ・米等の自給確立都市宣言(平成3年3月22日市議会議決) ・男女共同参画都市宣言(平成10年9月21日市議会議決)
姉妹・友好都市等	キッツビューエル市(オーストリア)、スワンヒル地方市(オーストラリア)、ウランウデ市(ロシア)、ボルダー市(アメリカ)、吉林市(中国)、台南市(台湾)、大島町(東京都)、加美町(宮城県)
行事・祭等	山形花笠まつり、初市、蔵王樹氷まつり、霞城観桜会、馬見ヶ崎さくらラインライトアップ、植木市、山形大花火大会、日本一の芋煮会フェスティバル
名所・旧跡等	蔵王温泉、山寺立石寺、山形城跡、国分寺薬師堂、唐松観音堂、専称寺、石造明神鳥居、もみじ公園、千歳山・萬松寺、光禅寺、文翔館、鳥海月山阿所宮、郷土館(旧済生館本館)
特産品・名物	紅花、山形牛、いも煮、山形そば、(冷・温)ラーメン、玉こんにゃく、山形だし、どんどん焼き、地酒、山形鑄物、山形仏壇、打刃物、平清水焼、こけし、山形張子

◆本計画のイラストについて

【表紙】



▶イラスト編集

たかやす きょうすけ

山形市地域おこし協力隊 高安 恭介

▶コンセプト

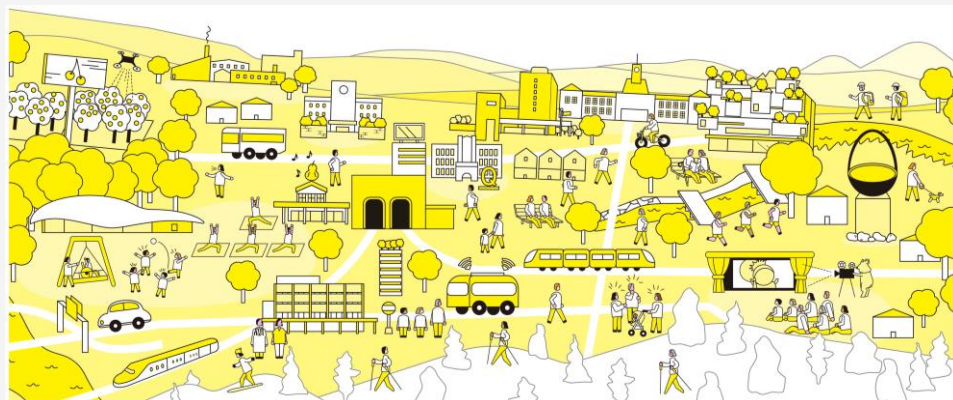
表紙では円状にイラストを配置することでコミュニティの一体感やサステナブルな社会を表現しました。

計画書内で使用している蔵王から一望したまちのイラストでは、わたしたちの身近に様々な魅力が溢れている様子を表しています。例えば、すごく天気の良い日にまちを散歩する人、体を動かしてリフレッシュしている人、野外の映画上映会を鑑賞する人、コンサートホールで音楽会を楽しむ人でまちがにぎわっている。健康医療先進都市と文化創造都市を確立した、ほんの少し先の未来ではそんな日常がいつもの風景になっているかもしれません。

そのほか新技術の活用による無人運転のバスなどがまちを走り、ドローンを活用したスマート農業が盛んになり、屋上庭園でのんびり過ごせる建物が増えたり、国籍・性別・年齢に関わらず、暮らす人・訪れる人の誰もがより快適に過ごせるまちをイメージして描きました。

また、本イラストは山形市の、そして山形市民一人ひとりの明るい未来への希望を込めて、イエローを基調とした配色で仕上げました。

【P36-P37】



山形市発展計画2030

令和7年(2025年) 3月策定

発行者 山形市

〒990-8540 山形市旅籠町二丁目3番25号

TEL:023-641-1212 / FAX:023-623-0703